

かすがい 市議会 だより

道風くん



第71号

2012年11月
(年5回発行予定)

もくじ	
・特別会計決算など……………2	
・一般議案など……………3	
・一般質問……………4	

総合防災訓練（8月26日 大手小学校）

東海・東南海連動型地震を想定した訓練が実施され、参加した地元住民の皆さんや警察、自衛隊などの関連機関の職員約1,900人が協力しあい、防災意識を高めました。

平成24年 第4回定例会（9月10日～9月28日）

定例会には、決算13件、補正予算6件、条例案7件、一般議案5件、報告8件、人事案件3件、議員提出議案3件が提出され、認定・可決・同意・承認されました。また、請願2件が採択されました。

なお、9月25日と26日に15人の議員が一般質問を行い、市の考えをたどしました。

平成23年度一般会計決算

◆一般会計歳入歳出決算

【認定：賛成多数】

一般会計の歳入は882億3,895万8,147円で、前年度比36億8,749万4,887円約4.4%の増加。歳出は852億4,306万8,961円で、前年度比37億7,130万3,126円の約4.6%の増加。実質収支は28億7,618万2,136円の黒字です。

市税は3年ぶりの増収です。市民税のうち法人市民税が17.5%と大きく伸びましたが、個人市民税は生産年齢人口の減少などによる市民所得の減少から2.5%のマイナスとなりました。

市債残高は平成22年度末から一般会計で20億円、会計全体では47.6億円の減となり、中期財政計画に掲げた目標を1年前倒しで達成する見込みです。

防災を重要課題の一つとして位置付け、小中学校の耐震補強を前倒しで進め、市民会館など公共施設の耐震補強についても対応の目処をつけました。9月の大雨による災害の復旧工事を行うとともに、雨水貯留施設や排水路の整備など防災機能の強化を図りました。

JR春日井駅周辺整備や(仮称)総合保健センター整備、新調理場整備といった大型プロジェクト事業については、実施設計など着工に向けた準備作業を行いました。

【総務費】第五次総合計画の改定準備、市民活動拠点としての東部ほっとステーションの開設、文化体験道場、東日本大震災の被災地支援などです。

【民生費】高齢者及び障がい者福祉施設の整備補助、障がい者自立支援給付、子ども医療を始めとする福祉医療費などを実施。平成22年度整備した2園の私立保育園での保育開始、第三保育園の建て替え整備などです。

【衛生費】新たな感染症予防対策として、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種、高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成を実施しました。

【商工費】商工業振興資金融資、工場等の新增設等の支援、販路開拓等企業活動支援などです。

【土木費】幹線道路、市道・側溝、狭あい道路など生活関連施設の整備、交通改良工事、あんしん歩行エリア整備、JR春日井駅・名鉄味美駅周辺の都市交流拠点整備などです。

【消防費】消防ポンプ自動車、化学消防ポンプ自動車、高規格救急車の購入、耐震性防火水槽などです。

【教育費】私立高等学校授業料補助、少人数指導支援対策、便器洋式化工事、校庭芝生化などです。

平成23年度特別会計決算 (10件)

国民健康保険事業特別会計は、12億8,287万2,512円の赤字決算となりました。歳入総額は前年度を上回ったものの、保険給付費、後期高齢者医療支援金、介護納

付金が増加したことなどにより、赤字額は前年度に比べ1,629万8,803円(1.3%)増加しました。
他の9事業は黒字決算ないしは収支同額です。

- ◆公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算
【認定：全会一致】
- ◆国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
【認定：賛成多数】
- ◆後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
【認定：全会一致】
- ◆介護保険事業特別会計歳入歳出決算【認定：全会一致】
- ◆介護サービス事業特別会計歳入歳出決算
【認定：全会一致】

- ◆民家防音事業特別会計歳入歳出決算【認定：全会一致】
- ◆潮見坂平和公園事業特別会計歳入歳出決算
【認定：全会一致】
- ◆松河戸土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算
【認定：全会一致】
- ◆勝川駅周辺総合整備事業特別会計歳入歳出決算
【認定：賛成多数】
- ◆公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
【認定：全会一致】

平成23年度企業会計決算 (2件)

- ◆春日井市民病院事業会計決算 【認定：全会一致】
純利益は9,721万8,630円となりました。入院・外来患者数の減少に伴い減収となったものの、薬品購入や業務委託に係る契約方法等の見直しなどにより経費の削減を図り、2年連続の黒字決算です。

- ◆水道事業会計決算 【認定：賛成多数】
純利益は1億6,672万190円となりました。水道料金の第2段階目の改定による給水収益の増加があったことから営業収支が改善され、4年ぶりに純利益を計上しました。

平成24年度補正予算案 (6件)

- ◆一般会計補正予算の専決処分の承認【承認：全会一致】
過誤納還付金及び還付加算金6,000万円の補正予算の専決を承認しました。
- ◆一般会計補正予算 【原案可決：全会一致】
感染症予防対策(不活化ポリオワクチン)、小学校通学路区画線等整備などを含む事業で29億4,921万1,000円を補正するものです。
- ◆国民健康保険事業特別会計補正予算
【原案可決：全会一致】
過年度退職者医療交付金の返還金1億6,817万6,000円を補正するものです。

- ◆後期高齢者医療事業特別会計補正予算
【原案可決：全会一致】
後期高齢者医療広域連合納付金5,191万1,000円を補正するものです。
- ◆介護保険事業特別会計補正予算【原案可決：全会一致】
地域支え合い体制づくり事業他3件で6,422万円を補正するものです。
- ◆松河戸土地区画整理事業特別会計補正予算
【原案可決：全会一致】
道路築造工事1億3,000万円を補正するものです。

条例案 (7件)

- ◆災害対策本部条例の一部を改正する条例
【原案可決：全会一致】
災害対策基本法の一部改正に伴い規定を整備するものです。
- ◆文化スポーツ施設整備基金条例【原案可決：全会一致】
文化施設及びスポーツ施設の整備に要する費用に充てる基金を設置するため、条例を定めるものです。

- ◆総合体育館条例の一部を改正する条例
【原案可決：賛成多数】
平成25年4月に開館予定の落合公園体育館について、施設の使用ルール等を定めるものです。
- ◆市立学校設置条例の一部を改正する条例
【原案可決：賛成多数】
藤山台東小学校を廃止し、藤山台小学校に統合するにあたり、規定を整備するものです。

◆廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】
指定袋によるプラスチック製容器包装の排出について、規定を整備するものです。

◆下水道条例の一部を改正する条例【原案可決：全会一致】
公共下水道に排除される下水に係る排水基準について、規定を整備するものです。

◆市長の給与の特例に関する条例【原案可決：全会一致】
市長の給料月額を1カ月間減額するものです。

一般議案 (5件)

◆市民会館耐震補強その他工事(建築)の請負契約 【原案可決：全会一致】

契約金額 2億947万5,000円
契約の相手方 株式会社高柳組
工事内容 耐震補強工事・外壁改修工事一式
屋上防水改修工事一式
内装改修工事一式・外構工事一式

◆知多公民館新築工事の請負契約【原案可決：全会一致】

契約金額 2億3,999万8,500円
契約の相手方 TSUCHIYA株式会社春日井営業所
工事内容 知多公民館新築に係る設計業務及び
工事一式
鉄骨造 2階建

◆(仮称)春日井市総合保健センター整備工事(建築)の請負契約 【原案可決：賛成多数】

契約金額 17億2,830万円
契約の相手方 佐藤・丸彦渡辺・協和特定建設工事
共同企業体
工事内容 鉄骨造 4階建
建築面積 2,768.43㎡
延べ面積 9,084.28㎡

◆(仮称)春日井市総合保健センター整備工事(電気)の請負契約 【原案可決：賛成多数】

契約金額 4億1,941万2,000円
契約の相手方 川北・春日井特定建設工事共同企業体
工事内容 電気設備一式

◆(仮称)春日井市総合保健センター整備工事(機械)の請負契約 【原案可決：賛成多数】

契約金額 5億9,535万円
契約の相手方 三機・丸水・本間特定建設工事共同
企業体
工事内容 機械設備一式



請願審議 (2件)

2件の請願が提出され、委員会に付託し審査しました。その後、本会議で委員長の審査結果報告があり、採決の結果は次のとおりです。

◆定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願書 【採択】

◆私立高校に子どもを通わせる保護者に対する授業料助成金の維持・拡充を求める請願書 【採択】

人事案件 (3件)

任期満了に伴い、教育委員会委員に大野みどり氏、野田芳雄氏の選任に同意しました。また任期満了に伴

い、人権擁護委員に加藤太氏の推薦を了承しました。

議員提出議案 (3件)

9月28日に意見書3件を議員提案し、原案のとおり可決した後、地方自治法第99条の規定により関係行政機関へ提出しました。

◆定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書 【原案可決：賛成多数】

◆愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書 【原案可決：全会一致】

◆国の私学助成の増額と拡充に関する意見書 【原案可決：全会一致】

一般質問

市政全般にわたる問題について質問します

今回の定例会では、15人の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、34項目の一般質問を行いました。一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたずため行うものです。

各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)



道風くん

1 消費税の増税について

質問者 あさの 登

質問 消費税が平成26年4月から8%に、平成27年10月から10%に増税されることが決まった。現在、消費税のうち1%は地方消費税で、本市も今年度は28億円余を見込んでいる。今回の増税により本市に入る地方消費税額への影響を問う。また併せて消費税を目的税とすることについて、さらには、将来の消費税の姿(全額地方税とする)について本市の考えを問う。

その他の質問事項 • 地域主権改革一括法の施行に伴う条例の制定等について

担当 財政課・企画政策課

【答弁】地方消費税交付金を、消費税8%では、20億円増の約48億円、消費税10%では、34億円増の約62億円と見込んでいます。高齢化が一層進む中、消費税を社会保障に充てることは、現時点では認容すべきと考えます。また、基礎自治体の自立した運営には、財源の確保が重要であり、消費税の全額地方税化は望ましいものの、更なる議論が必要と考えられています。



2 うつ病の気づきを促す取り組みについて

質問者 田口 よしこ

質問 うつ病の気づきを周知していくことは、自殺の歯止めになります。医療費の抑制、労働力向上は本市の活力につながるため、うつ病の一次予防は今後ますます重要になります。本市職員と市民へのうつ病の気づきを促す取り組みの現状と課題、また青年世代に受け入れられやすいこころの健康を知るきっかけとなる「こころの体温計」導入についての考えを問う。

担当 人事課・健康増進課

【答弁】職員に対しては、今年度から新規採用者の採用後面談などに取組んでいます。今後はメンタルヘルスに関する階層別の研修も充実させていきます。市民に対しては、自殺予防の啓発パネル展示やストレスチェックの実施により自己のストレスに気づき、関心を持っていただくとともにゲートキーパーの養成を計画的に進めます。また、こころの不調に気づき難い若年層に対し、インターネットを活用した自己診断ツールの導入について検討します。



3 防災・減災対策について

質問者 佐々木 圭祐

質問 国は南海トラフ巨大地震について、被害想定を公表しました。大規模地震の発生に備え様々な対策が再検討されていますが、本市の災害時の避難所である小学校の防災機能の現状について問う。次に災害時の生活用水の確保について、井戸水提供の家の登録数と企業からも井戸水の提供があるのか。また、避難所である小学校に防災用井戸の設置について問う。

担当 市民安全課

【答弁】避難所の備蓄倉庫には、飲料水、簡易テント、間仕切り、発電機、テレビなどを備蓄しています。井戸水提供の家は90件であり、また浄水施設のある企業と災害時の協定を締結しています。避難所については、飲料水の備蓄の増量、上水道の配水タンクや自己水源、可搬式ろ水機などにより、水を確保すると共に、井戸水提供の家や協定締結事業者からの給水もあるため、井戸の設置は考えておりません。



4 小・中学校における 脊柱側湾症対策について

質問者 石原 めいこ

質問 脊柱側湾症とは、脊柱、背骨がS字型に湾曲していく難病である。学校保健法により学校での健康診査項目として明記されている。小中学校では年に一度脊柱検診が実施されている。脊柱に異常が見受けられた事例は、平成23年度は小学校で22人、中学校で26人である。この病気の早期発見に有効とされる体の凹凸を映し出すモアレ検査の導入について問う。

その他の質問事項 • 起業・創業支援のための相談窓口及びインキュベーションマネージャー(IM)の設置について

担当 学校教育課

【答弁】健康診断で脊柱に異常が認められた児童生徒には、医療機関等でレントゲン撮影による精密検査を受けるよう指導しています。モアレ検査の実施には、費用だけでなく、実施できる検査機関が限られること、モアレ検査で異常が発見された場合もレントゲン撮影による精密検査が必要となることから、その導入は、今のところ考えていませんが、早い段階から適切な保健指導や治療が始められるよう、脊柱の異常の早期発見に努めます。



5 愛知県の第三子保育料無料化 事業費補助金の見直しについて

質問者 後藤 正夫

質問 愛知県は、第三子保育料無料化事業の対象について、所得に応じて補助割合を設定する方針を決定したとの報道があった。この事業は、平成19年より5年間の事業期間として、18歳未満の児童を3人以上養育し、3人目以降の3歳未満児が保育所に入所している保育料を補助するものである。①本市の事業実績②県の事業見直し③今後の本市の対応を問う。

その他の質問事項 • 平成25年度予算編成と中期財政計画について

担当 保育課

【答弁】第三子保育料無料化事業の平成23年度の実績は、対象となった児童数は264人で、保育料相当分約6,670万円を県の補助3,230万円を受け、すべて無料としています。県と同様の見直しをした場合、新たに160人ほどの児童の保育料として、総額約4,180万円のご負担をお願いすることとなります。今後の対応については、本市では、これまで子育て支援の充実に取り組んできているところであり、慎重に検討していきます。



6 ハローワーク機能を市庁舎に 誘致することについて

質問者 田中 千幸

質問 大手町にあるハローワークは、長引く不況による求職者であふれかえっている状況が未だ解消されていない。政府のアクションプランによって、市庁舎内等に検索端末を設置したり、国からの相談員が常駐する施策が進行中である。本市においてもこのプランに提案を持って参画する意向はないか。また、現在の混雑緩和への対策としてどんな対策を行っているか。

その他の質問事項 • 神屋地下堰堤の改修・保存について

担当 経済振興課

【答弁】就労意欲のある生活困窮者を対象に、月に2回、ハローワークから就労支援専門の担当者が来庁し、無料相談業務を行い、また、ハローワーク春日井では、若者を始め各種の就労相談に関する職業相談支援窓口が設けられていますが、建物も狭く、駐車場の確保も難しい状況なため、移転を検討し始めたかと聞いています。市としても、早期の移転の実現に向け協力をしていきます。



7 スポーツ基本法施行を踏まえた 春日井市としての今後の方向性について

質問者 安達 かよ

質問 ロンドンオリンピックが開催されスポーツに対する関心が高まる今日、50年ぶりに新たに改正された「スポーツ基本法」の理念を春日井市としていかに具体化していくか。また、健康の維持増進、世代間交流、地域スポーツの推進等、文科省が進めている“総合型地域スポーツクラブ”に準じた対応をいかに進めるか、併せて今後のスポーツ振興の方向性について問う。

担当 スポーツ課

【答弁】本市では国が定めた「スポーツ基本法」の理念を踏まえ、スポーツの振興に関する施策を総合的に推進するための基本理念を明らかにする（仮称）スポーツ振興基本条例を制定します。また、「総合型地域スポーツクラブ」の設置については、既に学校区体育振興会が同様な活動を行っており、スポーツ推進委員及び財団法人市民サービス公社とともに活動を支援していきます。今後、文化とスポーツが両輪となり、明るく豊かで活力ある「文化・スポーツ都市」の実現を目指します。



8 下水道事業について

質問者 伊藤 建治

質問 下水道整備費の一部を受益者負担金として、所有している土地面積に応じて負担いただくが、農地も対象となる。農地は汚水を出さない。下水道にも接続せず受益を受けない。農地に受益者負担金を課すことは適切ではない。他自治体では農地には猶予制度を設けている。本市でも農地が宅地転用されるなどし受益が発生するまで徴収猶予をすべきだ。所見を問う。

その他の質問事項 •放射線測定について •都市計画道路高座線について
 •市道について •団地等の集中浄化槽について

担当 業務課

【答弁】公共下水道整備区域内の土地は、現状が農地であっても下水道整備から受ける地域全体の付加価値が向上することにおいて、利益は等しく受けると考えられています。そのため、受益者負担金は、地域の下水道施設整備に係る費用の一部として、整備区域の土地の所有者等に等しくご負担をいただいています。こうした考えから、春日井市では、農地についての徴収猶予は行っていません。



9 春日井市の観光の取組みについて

質問者 加藤 たかあき

質問 観光は地域の自然・歴史・文化等の資源を活用して、地域の活性化を促すこととなります。国の年間の旅行消費額は、23.8兆円、雇用創出効果229万人、税収効果4兆円で経済効果も高い数値が発表されております。春日井市の観光名所づくりと魅力を広める取組みについて問う。

担当 経済振興課

【答弁】現在、少年自然の家と都市緑化植物園周辺の散策コースや東海自然歩道春日井コースを紹介しています。また、東海自然歩道春日井コースの入り口である定光寺駅には、自然歩道を歩く人など、多くの方が訪れており、春日井とは思えぬ景色があります。愛知高原国定公園として指定された東部丘陵の自然は、貴重な観光資源と考えていますので観光スポットとしてPRしていきます。



10 AEDに対する現状と課題について

質問者 堀尾 達也

質問 周りの人が、突然目の前で心臓や呼吸が止まって倒れたら、適切な手当が出来るか不安です。救急車の到着を待つ間に、AEDを使用し、出来るだけ早く心肺蘇生を行う事が一命を取り留める重要な行動です。そのような状況に立った場合に、焦らないで対応する為の対応や判断について、また、応急手当・普及啓発に係る課題と取組みについて問う。

その他の質問事項 •成人式について •買い物弱者対策について

担当 消防総務課

【答弁】「その場に居合わせた人」に、救命率の向上につながる応急手当を落ち着いて適切に実施していただくため、119番通報した際に、人工呼吸、胸骨圧迫及びAEDの使い方などを、職員が電話を通じ通報者に対し指導しております。また、AEDの早期実施と救命率向上に向け、応急手当の受講者のすそ野を広げる「救急入門コース」をはじめ救命講習を各訓練指導時にPRを実施していきます。



11 いじめに対する春日井市の対応について

質問者 村上 しんじろう

質問 いじめが重大事件に発展することを防止するには、災害防止の考え方を当てはめると「ヒヤリ・ハット」を認知した時点で対処することが重要であり、学校だけでなく、保護者、地域を含め、市全体で子どもの「心」を育てていかなければならないと考える。春日井市では認知しているいじめ、表に出ていないいじめに対し、どのように対応しているか問う。

担当 学校教育課

【答弁】全小中学校から、いじめの報告を受け、その実態を把握するとともに、いじめ・不登校相談室の設置、スクールカウンセラーや心の教室相談員の派遣のほか、各学校で、いじめに関するアンケートや担任教師との教育相談、いじめ・不登校対策委員会で情報を共有し、協力して対応していますが、いじめの防止には、自分や他人の命を大切にする心の教育が最も重要と考え、道徳の授業に限らず、様々な機会を通して、心の教育に努めています。



12 福祉医療制度の見直しについて

質問者 内藤 富江

質問 愛知県は第5次行革大綱に基づき、子ども、障がい者、母子家庭、高齢者等の医療費助成制度に対し、一部負担金や所得制限を設けるための検討を始めました。春日井市にはどのような影響があるか。福祉医療制度はとりわけ弱い立場にある人の命と健康を守る上でかけがえのない優れた制度です。決して後退させてはならない制度だと考えるが当局の考え方を問う。

その他の質問事項 • 平和市長会議加盟のその後の取りくみについて

担当 保険医療年金課

【答弁】県の福祉医療制度の見直し内容によっては、受給者の医療費負担の発生や、市単独事業の拡充による財政負担の増加などの影響が予測されます。

福祉医療制度は、社会的に弱い立場の方々に対する生活維持のため、また、少子化対策としても重要であることから、公平で安定的に維持され、過大な財政負担やサービス低下を招くことがないように県へ要望していきます。



13 国民健康保険事業について

質問者 内田 謙

質問 市長は今年の市政方針説明で、国保（国民健康保険事業）について「保険税率の見直しを検討してまいります」と述べた。国保財政が苦しくなったのは、国庫負担率の引き下げが原因である。現在でも「高くて払うのがたいへん」というのが国保税である。家計収入の減少が続く中での国保税の引き上げは認め難い。今どのような検討をおこなっているか問う。

その他の質問事項 • 平和行政について • 障がい者教育について

担当 保険医療年金課

【答弁】国民健康保険事業は、医療費の適正化対策や収納対策の一層の強化を図るなど財政の健全化に努めていますが、国民健康保険税の減少、保険給付費などの増加により財政運営は非常に厳しいものとなっています。

こうした現状と制度改正の影響を踏まえながら、歳入不足の計画的な解消や収支見通しの作成、市民への影響等、様々な角度から見直しの必要性を検討しています。



14 自転車駐車場等について

質問者 宮地 ゆたか

質問 市内へ働きに来る人からの要望です。「仕事を終えて自転車を春日井駅北口自転車駐車場に預けてJRで帰る。翌朝、自転車を出すと2日分の料金を払わなくてはならない。24時間制の駐輪場もある。ここも同じ様にして欲しい」自転車利用のエコ通勤に僅かでも役立てば良いと考えます。市が係わる市内各駅の自転車駐車場の運営状況と、扱いの変更について問う。

その他の質問事項 • 計画行政について • 情報システムについて • 戦争遺跡の保存について • 鷹来公民館について

担当 交通対策課

【答弁】市が関係する有料自転車駐車場は、JR高蔵寺、勝川、春日井の3駅にあります。ご質問の場合の運用は、市営の高蔵寺駅の駐車場では、1回の利用となりますが、(財)自転車駐車場整備センターが運営する勝川駅・春日井駅の駐車場では、勝川駅は24時間制のため1回の利用、春日井駅は深夜の駐車場閉鎖に伴い2回分の利用となると聞いています。

今後は、春日井駅も他駅と同様の取扱いとなるよう、事業者に改善を要望します。



15 市庁舎12階レストラン等について

質問者 熊野 義樹

質問 現在オープンしている12階レストラン、現在朝9時から夕方5時までですが、市民会館使用時、文化フォーラム図書館に合わせ平常の営業時間を夜9時オーダーストップ、土日祝日も営業出来るようにする。春日井市も市制70周年を迎えさらに発展していく中で、大胆な改革をし、経営者の要望を踏まえ市民ニーズに合ったレストランに出来ないかを問う。

その他の質問事項 • 市制70周年の記念事業について • 市庁舎のメンテナンスについて

担当 総務課

【答弁】市庁舎レストランは、展望のよい12階にあることから、人気スポットとして市民の皆さんからも好評を得ている施設でもあります。

今後も、利用される市民の皆さんの意見を取り入れ、市庁舎が持つ本来の機能を生かす中で、満足度と利用価値の高い施設活用を考えていきますので、よろしく願いいたします。



市議会のホームページ

市議会のホームページでは次のような情報をご覧いただくことができます。



- 市議会議員名簿 ○提出議案・請願一覧 ○一般質問事項一覧
- 市議会だより ○市議会の予定 ○本会議・常任委員会の会議録 など

【アドレス】

<http://www.city.kasugai.lg.jp/shigikai/>
春日井市のホームページからアクセスしてください。

傍聴のお知らせ

市議会の本会議や委員会は傍聴することができます。

平成23年では、本会議には年間で延べ265人の方が、委員会には年間で延べ100人の方が傍聴にお越しいただいております。

皆さんも是非、議会の傍聴にお越しください。

また、本会議の開会中は市役所1階市民ホールに設置したテレビで、本会議の様子をご覧になることもできます。

【本会議を傍聴される方】

本会議は通常午前10時に開会します。傍聴を希望される方は市役所5階の議場傍聴席入口にお越しください。定員は88人で、うち車いす席は6席です。

【委員会を傍聴される方】

常任委員会は通常午前9時に開会します。当日の午前8時30分から午前8時45分までに市役所3階議会事務局にお越しください。定員は5人で定員を超えた場合は抽選により決定します。



道風くん

平成24年第5回定例会予定

- ▽11月27日(火) 10:00～ 本会議 (提案理由説明)
- ▽11月29日(木) 10:00～ 本会議
(質疑、委員会付託)
- ▽12月3日(月) 9:00～ 文教経済委員会
- ▽12月4日(火) 9:00～ 厚生委員会
- ▽12月5日(水) 9:00～ 建設委員会
- ▽12月6日(木) 9:00～ 総務委員会
- ▽12月10日(月) 10:00～ 本会議 (一般質問)
- ▽12月11日(火) 10:00～ 本会議 (一般質問)
- ▽12月13日(木) 10:00～ 本会議 (採決)

※議事の都合により、日程が変更になる場合があります。

問い合わせ 議事課 (☎85-6492)



編集後記

政治・経済が不安定な中で第4回定例会が開催され、平成23年度の各事業の進行状況や成果を審査し、一般会計決算をはじめ、各会計の予算執行を認定しました。また、一般質問は、今定例会から一問一答方式をとりいれ、15人の議員が市政における諸問題を取り上げ、当局と活発な議論を交しました。

地方分権が進む今日、春日井市をより住みよいまちとするため、市民の代表としての責務を果たすべく全身全霊、日々取り組んでまいります。

晩秋を迎え日々寒さ厳しくなっております。健康に留意しお体ご自愛ください。

編集委員一同

